

平成30年度 第2回沼田市地域公共交通会議会議録

- 1 日 時 平成31年1月15日（火）13時53分～14時20分
- 2 場 所 沼田中央公民館 3F 第一講義室
- 3 出席者 五十嵐会長 外委員11名（別紙のとおり）
- 4 会議の概要

定足数については委員14名中、12名出席であり、設置要綱第4条第5項により会議は成立した。

傍聴者なし。会議の結果は、沼田市公式ホームページ上で公開する。

（1）会長職務代理の指名について

沼田市地域公共交通会議の設置要綱第4条第3項により会長が職務代理として路線バス担当部長である市民部長を指名した。

（2）協議事項

ア 平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画に係わる事業評価について（「資料」1～12ページ）

- ・主な審議事項となる地域内フィーダー系統確保維持計画については、実施要領の定めにより、毎年事業評価を地域公共交通会議に諮った上で関東運輸局に提出する必要がある。
- ・関東運輸局から示された様式に基づき、平成30年度計画（計画期間：平成29年10月1日から平成30年9月30日）の事業評価として別添1、別添1-2、ポンチ絵を含む概要を作成した。概要は以下のとおり説明。

○別添1（「資料」1ページ）

- ・①補助対象事業者、②事業概要、③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況、④事業実施の適切性、⑤目標・効果達成状況、⑥事業の今後の改善点を記載した。
- ・前回の事業評価結果を計画に反映させ、沼須線の2系統を利用者の多い系統に統合し、主な利用目的地である病院等での時刻表配布により利用促進を図った。
- ・事業は計画どおり適切に実施されているが、掲げた目標は達成できなかった。この結果を踏まえた改善点として、市役所を含む複合施設のオープンに伴う経路変更の検討、引き続き病院等での時刻表配布を行うことにしている。

○別添1-2（「資料」2ページ）

- ・事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について、地域交通の目指す姿（事業実施の目的・必要性）を記載した。
- ・地域医療の中核である利根中央病院が公共交通空白地域に移転したことに伴い、交通弱者の移動手段の確保を目的としている。
- ・地域間幹線と委託路線を合わせたネットワーク形成を目指す。

○ポンチ絵を含む概要（「資料」3から12ページ）

- ・事業の概要を示したポンチ絵、路線図、乗降調査等により作成。

（質疑応答）

特になし。

（協議結果）

異議なく原案のとおり承認された。

イ その他

- ・現在進めている路線の見直しについて、事務局より説明。
- ・群馬県と連携し、人の動きやバスカードのデータ分析などを行い、テラス沼田のオープンに伴い、本町通りへの路線集約、路線の等間隔運行などにより中心市街地活性化に寄与する見直しを検討している。
- ・路線集約により運行本数が減る経路や等間隔運行による駅への接続などの課題を検証し、調整をしていきたい。

（質疑応答）

特になし。

（3）その他

- ・事務局から意見・質疑を求めたところ、次の意見が出された。

委員：利根町、片品方面からバスを利用して保健福祉センター前で乗り換え、利根中央病院に通院している人がいる。バス停にそういう人のための上屋などを設置できないか。

事務局：この場で直ぐに何か出来るという回答は申し上げられない。指摘を頂いたバス停付近では、現在市民体育館の改修が行われている。バスの待合所ということではないが、その改修に併せて屋根付きのスペースが整備されている。こういった物が出来ないかなど研究したい。指摘を頂いたバス停付近にそういった課題があると認識したい。